

4-7 その他関連計画

(1) 小山町高齢者保健福祉計画及び第6期介護保険事業計画(平成27~29年度) 平成27年3月

“ゆったり すこやか まごころあふれる郷づくり”

【公共交通に関する記載の抜粋】

■生きがい対策と支えあいの体制づくり■

高齢者がいきいきと自立した生活を確保できるよう、生きがい活動や交流活動に積極的に参加し、**すべての町民が共に支えあう**、豊かな福祉のまちづくりを進めます。

- 高齢者等の利用が多い鉄道やバスなどの公共交通のバリアフリー化
- 低床バス等の導入、バス路線の確保

(2) 小山町観光振興計画(2015~2020) 平成27年3月

約430万人(平成25年度)⇒500万人(平成32年度)

“小山町へおいで！ 世界から” 観光交流500万人プログラム

【公共交通に関する記載の抜粋】

■観光インフラ整備プログラム■

●観光交通基盤の整備・活用

- ・季節運行バスの利便性向上

登山バスやハイキングバスの利便性を高めるため、ルートやダイヤ、停留所位置などの見直しを図ります。

- ・小山PA/足柄SA周辺の整備

本町の新たな玄関口となる小山PAのSIC周辺において、観光振興につながる土地利用を検討し、宿泊機能や商業機能などの充実に努めます。

足柄SAに開設予定のSIC周辺において、観光振興につながる土地利用を検討します。

- ・ユニバーサルデザイン化の推進

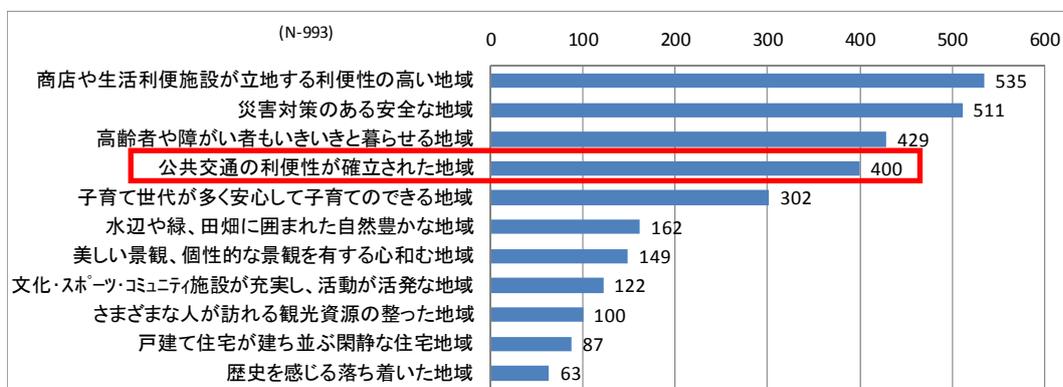
観光施設や観光周遊ルート上にあるトイレや休憩施設、案内掲示板などについて、ユニバーサルデザイン化を進めます。

4-8 地域のまちづくり計画

(1) 成美地域金太郎計画 2020 平成26年3月【※成美地域金太郎計画 2020 推進協議会】



○アンケート結果（地域のために取り組むべき方向性）



(2) 明倫地域金太郎計画 2020 平成27年3月【※明倫地域金太郎計画推進協議会】

計画の方針

(方針1) 行動する明倫地域づくり

2020年を目指して、地域住民が主体となり、地域を明るく元気にするため、行動を起こします。

(方針2) 住民コミュニティが活発な明倫地域づくり

明倫地域に居住する住民同士が、普段から顔見知りとなり、楽しく交流し、いざというときはみんなが助け合えることができるコミュニティが活発な地域づくりに取り組みます。

(方針3) 地域の資源を大切に、元気なまちづくりに活かす

明倫地域には、谷戸山や用水路、歴史ある神社仏閣や道祖神等の歴史、明倫小学校を中心とした住宅地など優れた資源が多く存在します。

これらの資源を大切に保全するとともに、健康ウォーキングやハイキングなどを通じて、地域の元気づくりを活かします。

目指す地域の将来像と具体的活動計画の内容

みんなで検討した内容を基に、明倫地域が目指すべき将来像と、具体的な活動の取り組み内容は以下のようになります。

1 災害対策のある安全な地域

①安全安心な道が整ったまち

- ・災害発生時に緊急車両が入り、活動しやすい道路づくり
- ・安全安心な通学路の整備と地域の見守り活動体制づくり
- ・地域の基盤をつくる道路のネットワーク計画

②明倫小学校を拠点とした防災機能が充実したまち

- ・平常時における小学校との連携強化
- ・災害救援物資搭載車両ならびに、自衛隊などの救援車両が入れる道路の整備
- ・区民が安心して過ごせる備蓄（食料・飲料・日用品）の充実と適正な管理

③平常時の地域コミュニティが育む安心安全なまち

- ・イベント等による、地域住民の顔が見える交流活動
- ・災害時に、近所の災害時要援護者（お年寄り、障がい者など）を支援できる体制づくり

2 商店や生活便利施設が立地する利便性の高い地域

①何でもそろう、便利に生活できるまち

- ・住宅地、商業・業務地、公共用地に農地等、将来を見据えた土地利用計画づくり
- ・必要な商品が何でもそろう、町内でも有数の利便性が高いまちづくり（店舗誘致）
- ・子どもから高齢者まで、誰もが住みたくするまちづくり

②地産地消を推進するまち

- ・地元農家が、公民館やスーパーなどの広場を活用した朝市の開催（土曜日など）
- ・子どもたちが、地域の特産品づくりに参加し、地域の農業を理解し、後世に伝えていく

3 水辺や緑、田畑に囲まれた自然豊かな地域

①歴史と自然環境が楽しめるウォーキングのできるまち

- ・せせらぎの音を聴きながら、歴史、自然を巡るウォーキングコースの指定
- ・住民の心と身体の健康をつくる一万歩ウォーキングコースの指定
- ・道祖神巡りコースの指定
- ・ウォーキング（歴史・自然）ガイドの育成
- ・目的に合わせたコースごとのマップづくり（含むイラストや解説）
- ・多様な看板づくり（コース、名所、解説、距離表示、スタート、中継点等の情報）
- ・四季折々の自然が楽しめる谷戸林（森林）公園づくり（展望広場、森で遊べる場所づくり、紅葉が楽しめる場所の整備ほか）

②水辺とホタルを活かしたまち

- ・清らかな湧水池と水音の響く水辺の保全と整備
- ・水量が多く流れが急な場所の安全対策
- ・見学できる湧水池の案内（個人宅でも許可が得られた所は見学ができるようにする）
- ・まちなかにホタルが舞い、多様な生物と共生できるまちづくり
- ・ホタルが毎年見られるように、カワニナやホタルの養殖を研究・実践する（保全活動）



○アンケート結果（地域のために取り組むべき方向性）

